

第52回大阪府環境審議会の開催結果の概要

日 時：平成27年6月18日（木）午前10時～

場 所：プリムローズ大阪（2階）「鳳凰（東）」

1. 循環型社会推進計画の策定について（諮問）

平成24年3月に策定した循環型社会推進計画が平成27年度を最終年度としていることから、平成32年度を目標年度とした新たな計画の策定にあたり、知事から諮問を行った（石川環境農林水産部長から奥野会長に諮問文を手交）。

審議の結果、専門性が高く、集中的な議論が必要であることから、部会を設置して検討を進めることが決定された。

2. 瀬戸内海の環境の保全に関する大阪府計画のあり方について（諮問）

大阪湾を含む瀬戸内海の環境保全については、瀬戸内海環境保全特別措置法に基づき、国が瀬戸内海環境保全基本計画を策定しているところ、平成27年2月に計画が全部変更となった。そのため、変更された基本計画と大阪湾の状況を踏まえた大阪府計画のあり方について、知事から諮問を行った（石川環境農林水産部長から奥野会長に諮問文を手交）。

審議の結果、専門性が高く、集中的な議論が必要であることから、部会を設置して検討を進めることが決定された。

3. リサイクル製品認定制度のあり方について（答申）

【答申の主な内容】

平成26年9月に開催された第50回環境審議会における知事からの諮問について、専門的な見地からリサイクル製品認定部会が検討を行い、そのとりまとめ結果が部会長から報告された。審議の結果、部会の報告をもって環境審議会の答申とされた。

○認定制度のスキームの変更

- ・「繰り返しリサイクルされている製品」を認定するための新たなスキームを設け、2段階の認定とすることが必要。
- ・使用済みがマテリアルリサイクルに馴染まない製品についても、リサイクル促進の観点から、引続き認定の対象とする。

○対象製品の見直しの考え方

- ・「繰り返しリサイクルされている製品」の認定の考え方として、使用済みを生産者が自ら回収し、リサイクルすること、または、使用済みの回収ルートがある程度確立しており、リサイクルされる見込みが高いこと、とすることが適当。
- ・現在の対象製品の見直しの考え方として、リサイクルに関する施策等の現状を踏まえ、「法令等によりリサイクルの義務付け・促進の仕組みと製品の利用促進の仕組みがある

製品」については、実際の利用状況を踏まえた上で、認定制度による支援の必要性を再検討することが適当。

○普及・PRの取り組みの推進

見直し後の認定制度とともに、「より質の高いリサイクル」という大阪府が目指す循環型社会の将来像をPRする。

○認定制度の点検・評価

認定事業者に毎年販売実績の報告を求めるなど、今回の見直し後の認定制度が「より質の高いリサイクル」を推進する制度として適切に運用されているか、PDCAサイクルによる点検・評価を行うことが必要。

4. 温暖化対策部会運営要領の改正について（温暖化対策部会報告）

今年3月に策定した「おおさかヒートアイランド対策推進計画」について、同計画の進行管理についても温暖化対策部会で点検・評価することとなった。それに伴い、部会運営要領について所用の改正を行った。

5. 温泉法に基づく温泉掘削等許可及び温泉動力装置許可について（温泉部会）

知事から諮問のあった温泉法に基づく温泉動力装置許可（1件）について、平成27年2月19日に開催した温泉部会で審議し、許可することに支障なしと同日付けで答申を行ったことが益田部会長から報告された。

6. 平成27年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について（水質部会）

知事から諮問のあった平成27年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について、平成27年1月14日に開催した水質部会で審議し、同日付けで答申を行ったことが池部会長から報告された。

7. トリクロロエチレンに係る排水基準の見直しについて（水質部会）

知事から諮問のあったトリクロロエチレンに係る排水基準の見直しについて、平成27年3月25日及び5月8日に開催した水質部会で審議し、5月8日付けで答申を行ったことが池部会長から報告された。

8. 第11次大阪府鳥獣保護管理事業計画、大阪府シカ第二種鳥獣管理計画（第3期）

及び大阪府イノシシ第二種鳥獣管理計画（第2期）について（野生生物部会）

知事から諮問のあった、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（以下「法」という。）第4条第4項の規定に基づく、大阪府鳥獣保護事業計画の変更（第11次保護管理計画の策定）、及び法第7条の2第3項において準用する第4条第4項の規定に基づく、大阪府シカ第二種鳥獣管理計画の策定（第3期管理計画の策定）及び大阪府イノシシ第二種鳥獣管理計画の策定（第2期管理計画の策定）について、平成27年5月7日に開催した野生生物部会で審議し、同日付けで答申を行ったことが石井部会長から報告された。

9. 大阪 21 世紀の新環境総合計画の見直し結果について（事務局）

平成 26 年 11 月環境審議会において、環境総合計画部会の意見具申に基づき、計画の一部見直しを検討するよう、また低炭素・省エネルギー社会の構築についても新たな計画との整合性を図るよう意見があったところ、その意見を踏まえた計画の見直しについて環境農林水産総務課長より報告された。

10. 基金活用事業等の審査結果について（環境・みどり活動促進部会報告）

平成 26 年 10 月 31 日、平成 26 年 12 月 4 日、平成 27 年 1 月 23 日に開催した環境・みどり活動促進部会において審議された、みどりの基金の活用について、及びおおさか優良緑化賞の選考結果について、及びグリーンストリート支援事業の審査結果について石川委員から報告された。

11. 循環型社会形成推進条例に基づくリサイクル製品の認定について（リサイクル製品認定部会）

知事から諮問のあった大阪府循環型社会形成推進条例第 12 条に基づく「リサイクル製品の認定」について、平成 27 年 2 月 13 日に開催したリサイクル製品認定部会で審議し、同日付けで答申を行ったことが福岡部会長から報告された。

12. その他

7 月 1 日に施行される「土砂の埋立て等の規制に関する条例」の概要について、また、4 月に茨木市に開設された水素ステーションについて事務局から報告を行った。

以 上